

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	技術英語	担当教員	高津正吉 (非常勤)		
学年学科	3 年 電気情報工学科	後期	必修	1 単位	
学習・教育目標	(C-2) 100%				
<b>授業の目標と期待される効果：</b> グローバルにビジネスが展開されている中で、技術者は諸外国の仲間と論議したり意志疎通を図ったり、あるいは技術情報を受信・発信する機会が益々増えてきています。これらビジネスシーンでのコミュニケーション手段はほとんどが「英語」です。ここでは、意志疎通のツールとして英語が使えるよう、より実践的な英語を学習します。 1) 聴く力、会話力の向上 相手の話している事を「聴いて」自分の考えや意志を「言葉で」伝える。 2) 読解力、記述力の向上 ビジネスレターや技術情報を「読んで」それに対する自分の考えを「書いて」発信する。		<b>成績評価の方法：</b> 中間試験 100 点 + 期末試験 100 点 + 宿題 50 点 (10 点 * 4 回 + 5 点 * 2 回) とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう。  <b>達成度評価の基準：</b> 1) 「学術用語」や「ビジネス用語」を使って会話する能力、表現する能力が向上したか。 【①相手の話している事を聴き取る】→【②自分の考えを「日本語」で考える】→【③自分の意志を自分の「英語」で伝える】を繰り返す事ができる。 2) 「学術用語」や「ビジネス用語」が入ったメールや教科書、技術文書を読んで大意を把握し、それに対して自分の意見(意志)を話す事ができる。また、それらをレポートやメールに記述する能力が向上したか。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 「90分」を3セクションに分けて進めます。 ①宿題の発表とポイント解説 約20分 ②ビジネスシーンを想定した“聴く”と“話す”/技術文の“読解”と“書く”演習 約60分 ③課題(宿題)の提示とその解説 約10分					
<b>教科書および参考書：</b> 「プリント」を使用する。 参考書・・・実践ビジネス英会話(大島さくら子/スティーブ・バーンステイン ベレ出版 2009 年7 月) 英文Eメール文例集ハンドブック(倉骨彰、トラピス・T・クラホネ 日本経済新聞出版社 2009 年10 月30 日) 日本人の英語(マークピータセン 岩波書店 2009 年9 月25 日)					
<b>授業の概要と予定：後期</b>					
第 1 回：「技術英語」とは？授業の進め方と成績評価の方法解説、参考文献紹介他					
第 2 回：文法の復習 その①(5 文型の構造、主部と述部。技術表現① 序数・少数・分数の読み方他)					
第 3 回：文法の復習 その②(不定詞、関係詞他。技術表現② 三角関数・指数・微分・積分式の読み方他)					
第 4 回：聴く&話す(ビジネス模擬シーン 職場で①。 技術表現③ 数式他の読み方)					
第 5 回：聴く&話す(ビジネス模擬シーン 職場で②。 技術表現④ 物理単位を使った文)					
第 6 回：聴く&話す(ビジネス模擬シーン 職場で③。 技術表現⑤ 工学単位を使った文)					
第 7 回：聴く&話す(ビジネス模擬シーン 職場で④)					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：聴く&話す(ビジネス模擬シーン 職場で⑤)					
第 10 回：聴く&話す(ビジネス模擬シーン 身近な話題で立ち話。 技術表現⑥ 工学単位を使った文)					
第 11 回：読む&書く(ビジネス e メールを読む、書く。 技術表現⑦ 工学単位を使った文)					
第 12 回：読む&書く(ビジネスレターを読む、書く。 技術表現⑧ 工学単位を使った文)					
第 13 回：読む&書く(技術情報・技術レポートの読解 その①。技術表現⑨ 誤差・精度他に係る文)					
第 14 回：読む&書く(技術情報・技術レポートの読解 その②)					
第 15 回：読む&書く(新聞・雑誌記事の読解)					
<b>期末試験</b>					
第 16 回：フォローアップ(期末試験解答解説など)					